

表の本文セルと表の見出しセルの関連付け

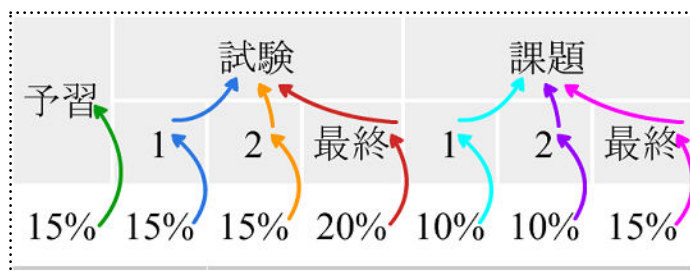
AH Formatter は、表に関する情報を明示するのに使用可能なふたつの拡張プロパティ、`axf:headers` と `axf:scope` を用意しています。`axf:headers` は、表の本文セルがどの見出しに対応する内容であることを指定します。逆に、`axf:scope` は、表の見出しセルがどの方向のセルに対して対応する見出しであることを指定します。詳しくはオンラインマニュアル「[axf:headers](#)」、「[axf:scope](#)」をご参照ください。

表のセルを見出しセルに関連付け

次の表は、`axf:headers` を使用して、表のセルを見出しセルに関連付けています。組版した表に変化はありませんが、PDF/UA を生成するとスクリーンリーダー（画面読み上げソフトウェア）は `axf:headers` の情報を使用できます。

予習	試験			課題		
	1	2	最終	1	2	最終
15%	15%	15%	20%	10%	10%	15%

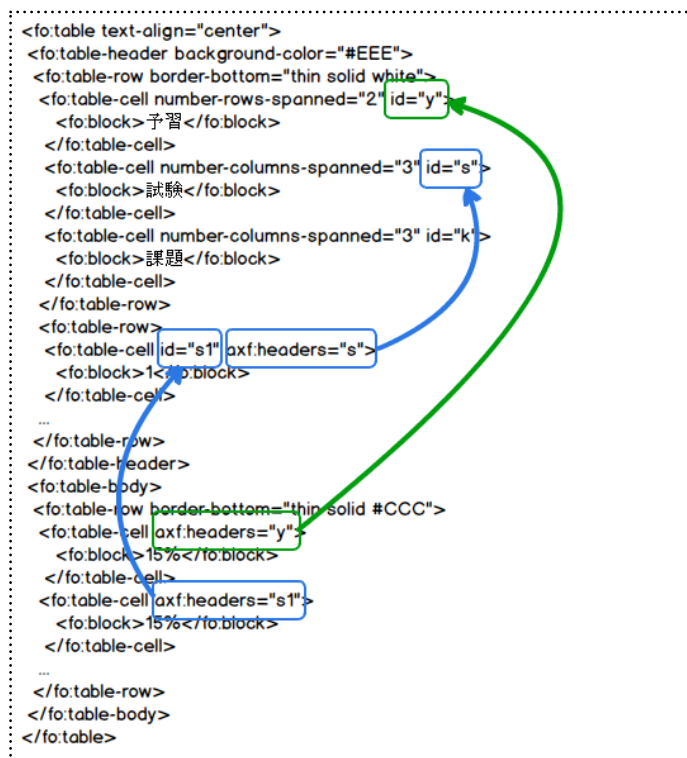
次の図では、矢印を使用して、表中における `axf:headers` の関連付けを示しています。



- ・ 緑色の矢印は、最初の列の「15%」の見出しが「予習」であることを示しています。
- ・ 青い矢印は、第2列の「15%」の見出しが「1」であり、「1」の見出しが「試験」であることを示しています。

`axf:headers` には、現在の表セルに関連付けられているひとつ以上の見出しセルの ID が含まれます。見出しセルは、関連する見出しセルを参照する `axf:headers` を持つこともできます。表本文セルに関連付けられた見出しセルは、`axf:headers` で参照される見出しセルであり、その見出しセルの持つ `axf:headers` で更にその見出しセルが参照されます。

次の図で、ここに述べた例のマークアップの一部の例を示します。



- ・ 緑色の矢印は、第 1 列の「15%」を表す fo:table-cell にある axf:headers="y" が、「予習」を表す fo:table-cell の ID を参照することを示しています。
- ・ 青い矢印は、第 2 列の「15%」を表す fo:table-cell にある axf:headers="s1" が「1」を表す fo:table-cell の ID を参照し、fo:table-cell にある "headers="s" は、「試験」を表す fo:table-cell の ID を参照することを示しています。

見出しセルを表のセルに関連付け

次の表では axf:scope を使用して、表の見出しセルをそれを適用する表のセルに関連付けます。組版した表に変化はありませんが、PDF/UA を生成するとスクリーンリーダー（画面読み上げソフトウェア）は axf:scope の情報を使用できます。XSL-FO で定義されている表の見出しセルは、fo:table-header 内の fo:table-cell だけです。この表ではタグ付き PDF および PDF/UA 出力で表の見出しセルとして扱われるように、表の本体セルの一部で axf:pdftag="TH" を指定しています。

名前	佐藤	鈴木	高橋
点数	所期 10,000	9,000	10,000
	実績 11,123.45	11,012.34	10,987.64

次の図では、色の濃淡を使って表の見出しセルの範囲を示しています。

名前	佐藤	鈴木	高橋
点数	所期 10,000	9,000	10,000
	実績 11,123.45	11,012.34	10,987.64

- ・ 「名前」は、同じ行の他のセルの見出しです。これは緑色の背景で示しています。

- ・「所期」は、同じ行の右側にある他のセルの見出しです。これはオレンジの背景で示しています。
- ・「実績」は、同じ行の右側にある他のセルの見出しです。これはピンクの背景で示しています。
- ・「点数」は「所期」および「実績」の見出しであり、同様にその見出しに関連するセルの見出しでもあります。これは青い背景で示しています。

axf:scope は、現在の見出しセルが同じ行、同じ列、または同じ列と行の両方の他の表セルに適用されるかどうかを示します。次の図では、色の濃淡を使って axf:scope が表見出しセルの適用範囲を示す方法を示しています。

```
<fo:table>
<fo:table-header>
<fo:table-row>
<fo:table-cell axf:scope="row" number-columns-spanned="2"><fo:block>名前</fo:block></fo:table-cell>
<fo:table-cell><fo:block>佐藤</fo:block></fo:table-cell>
<fo:table-cell><fo:block>鈴木</fo:block></fo:table-cell>
<fo:table-cell><fo:block>高橋</fo:block></fo:table-cell>
</fo:table-row>
</fo:table-header>
<fo:table-body>
<fo:table-row>
<fo:table-cell axf:pdftag="TH" number-rows-spanned="2" axf:scope="rowgroup"><fo:block>点数</fo:block></fo:table-cell>
<fo:table-cell axf:pdftag="TH" axf:scope="row"><fo:block>所期</fo:block></fo:table-cell>
<fo:table-cell><fo:block>10,000</fo:block></fo:table-cell>
<fo:table-cell><fo:block>9,000</fo:block></fo:table-cell>
<fo:table-cell><fo:block>10,000</fo:block></fo:table-cell>
</fo:table-row>
<fo:table-row>
<fo:table-cell axf:pdftag="TH" axf:scope="row"><fo:block>実績</fo:block></fo:table-cell>
<fo:table-cell><fo:block>11,123.45</fo:block></fo:table-cell>
<fo:table-cell><fo:block>11,012.34</fo:block></fo:table-cell>
<fo:table-cell><fo:block>10,987.64</fo:block></fo:table-cell>
</fo:table-row>
</fo:table-body>
</fo:table>
```

- ・ 緑、オレンジ、ピンクの背景部分は、axf:scope を使用して見出しを同じ行の次の列のセルに関連付ける方法を示しています。
- ・ 青い背景部分は、axf:scope="rowgroup" を使用して「点数」に続く列にある、スパンしたすべての行のセルに関連付ける方法を示しています。

可能であれば、axf:scope を必要とせずに構造が明らかになるように表を再配置することをお勧めします。次の表は、前の表と同じ情報を持っていますが、表の列に関連付けられる見出しセルはその列の先頭にあります。

名前	点数	
	所期	実績
佐藤	10,000	11,123.45
鈴木	9,000	11,012.34
高橋	10,000	10,987.64